

第33回日本原生動物学会大会講演要旨

大会長：遠藤 浩

会 場：金沢市 金沢シティーモンドホテル

会 期：平成12年11月4日(土)，5日(日)

日 程：第一日 11月4日

9:00 ~ 12:30 口頭発表 (1 ~ 12)
12:30 ~ 13:30 昼 食
13:30 ~ 15:00 ポスター発表 (P1 ~ P14)
15:00 ~ 16:00 総 会
16:00 ~ 16:30 奨励賞受賞者講演 (松岡達臣氏)
16:45 ~ 17:45 特別講演
18:00 ~ 20:00 懇親会

第二日 11月5日

9:00 ~ 12:30 口頭発表 (13 ~ 24)
12:30 ~ 13:30 昼 食
13:30 ~ 15:00 ポスター発表 (P15 ~ P28) (閉会)

講 演 目 次

特別講演

Volvox: Molecular Genetics of Cell Differentiation in a Simple Green Alga
..... Prof. Dr. Rudiger W. Schmitt
(University of Regensburg, D-93040 Regensburg, Germany)

一般講演 (口頭発表)

- 1) β -チューブリン遺伝子系統樹から推測される原生動物としての中生動物ニハイチュウ
..... 能登朋子 (金沢大・理・生物)
- 2) 繊毛虫の分類研究
..... 前田昌調 (国際農研センター水産部)
- 3) SSrRNA遺伝子塩基配列を元にした繊毛虫ツリガネムシの系統遺伝学的関係
..... 板橋岳志¹・見上一幸²・浅井 博¹ (¹早大・理工; ²宮城教育大・EEC)

- 4) hsp70配列から推測される*Paramecium*属の系統関係
 堀 学・富川 泉・藤島政博(山口大・理・生物)
- 5) ヒトから分離されたプラストシスチス株間の遺伝子多型の解析
 北野祥子・吉川尚男(奈良女子大学理学部生物科学科)
- 6) Are the rumen protozoa incapable of synthesizing threonine ?
 マムン モハマド オルラシド・シャイラ ワドウッド・小野寺良次
 (宮崎大学農学部)
- 7) テトラヒメナ細胞のホスホリパーゼD活性
 王 樹林¹・坂野喜子¹・中嶋 茂¹・野澤義則²
 (¹岐阜大・医・生化; ²岐阜県国際バイオ研・応用生化研)
- 8) チュープリン重合阻害剤オリザリンによる *Entamoeba invadens* のシスト形成の抑制
 牧岡朝夫¹・熊谷正広¹・大友弘士¹・小林正規²・竹内 勤²
 (¹慈恵医大・熱帯医学; ²慶大・医・熱帯医学・寄生虫学)
- 9) 慢性下痢症AIDS患者からの Microsporidia の検出
 八木田健司¹・増田剛太²・泉山信司³・遠藤卓郎¹
 (¹国立感染研・寄生動物; ²都立駒込病院・感染症科; ³池田理化)
- 10) 原生動物 *Trichomonas foetus* のマウス腹腔内感染における原虫の排除
 高谷英志¹・酒井仁美²・林 弘三²
 (¹徳島大学大学院 人間・自然環境研究科 自然環境専攻;
²徳島大学総合科学部自然システム学科 生命科学大講座)
- 11) 環境汚染物質がドナリエラの鞭毛再生へ及ぼす影響
 堀家直哉¹・佐藤忠文²・中村省吾¹(¹富山大学理学部; ²香川医科大学分子生物)
- 12) 絨毛虫毒の研究 - 方法と実験例 -
 三宅章雄・ボナンノフェデーリコ・ピエロサルタラマキア(伊・カメリーノ大)
- 13) *Paramecium multimicronucleatum* の接合型変換リズムに関する遺伝子の探索
 小林寿珠子¹・三輪五十二²・高橋三保子¹
 (¹筑波大学・生物; ²茨城大学・理学部・自然機能)
- 14) ミドリゾウリムシ白色細胞の食胞形成過程と共生藻感染の関連について
 後藤宗範・殿岡裕樹・渡辺 彊(東北大・院理・生物)
- 15) 遺伝子増幅と非メンデル遺伝: ヒメゾウリムシの行動突然変異体における非メンデル遺伝の解析
 松田厚志・高橋三保子(筑波大・生物)
- 16) クラミドモナスの非保守的アクチン: 発現と鞭毛への局在
 広野雅文¹・瓜生さと美¹・尾崎 心¹・箕浦高子²・神谷 律^{1,2}
 (¹東大・院理・生物科学; ²基生研・細胞情報)
- 17) 種間大核置換後の細胞の成長と形態変化: *Paramecium caudatum* の無大核細胞に *P. bursaria* の大核を移植した場合
 山田貴之・見上一幸(宮城教育大・EEC)

- 18) ゾウリムシの接合後における旧大核機能の解析 —MRテストは有効か?—
 木村直美・見上一幸 (宮城教育大学・EEC)
- 19) *Paramecium tetraurelia* の増殖に伴う紫外線感受性の変化
 山本奈津子・小森理絵・高木由臣 (奈良女子大学・理・生物)
- 20) ヨツヒメゾウリムシのクローン老化に伴い発現が変化する遺伝子
 田辺寛之・藤池昌樹・吉岡佐知子 (近大・農・生化)
- 21) プレファリスマの異種間グラフト
 近藤雅方・高橋三保子 (筑波大・生物)
- 22) プレファリスマにおける光シグナリング:色素顆粒内プロトン濃度変化の解析
 安田正治・松岡達臣 (高知大・理・生物)
- 23) ペラネマの滑走運動に対する2価陽イオンの関与
 齊藤育・洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- 24) タイヨウチュウの放出体に含まれる糖タンパク質gp40による細胞融合
 村上裕美・畠山真由子・洲崎敏伸 (神戸大・理・生物)
- 一般講演 (ポスター発表)
- P1) 水質および季節による繊毛虫相の変動
 長田典子¹・松坂理夫²
 (¹熊本大・自然科学研究科・自然システム; ²熊本大・理・環境理学)
- P2) ネパールに生息するスイギュウならびにヤギのルーメン内繊毛虫相
 宮崎裕・島村麻子・池和憲・森田達志・今井壯一
 (日本獣医畜産大学 獣医寄生虫学教室)
- P3) 培養細胞 (HCT-8) 系を用いたクリプトスポリジウムの培養と原虫増殖の定量法の検討
 Fernando M. Hemirda¹・木俣 勲¹・井関基弘²
 (¹大阪市大・医・医動物; ²金沢大・医・寄生虫)
- P4) *Entamoeba invadens* の増殖、シスト形成、多核化に及ぼすサイトカラシンDの効果
 牧岡朝夫¹・熊谷正広¹・大友弘士¹・小林正規²・竹内 勤²
 (¹慈恵医大・熱帯医学; ²慶大・医・熱帯医学・寄生虫学)
- P5) RAPD法による裸性アメーバ, マヨレラ属の分子系統調査
 月井雄二 (法政大)
- P6) *Acanthamoeba comandoni* の38-kDa抗原の性状と特異性
 小林富美恵¹・鶴原 喬²・深沢麻衣子³・福田 稔⁴・川上速人⁵・平野 寛⁵・辻 守康¹
 (¹杏林大・医・感染症; ²新潟県環境衛生研・先端技術センター;
³東京学芸大・生物; ⁴杏林大・医・電顕; ⁵杏林大・医・解剖)
- P7) 有中心粒目太陽虫 *Raphidiophrys contractilis* の捕食行動とキネトシストの放出
 洲崎敏伸¹・坂口美亜子²
 (¹神戸大・理・生物; ²ベルリン自由大・動物学研究所)

- P8) 原生生物太陽虫の細胞質内におけるCa²⁺依存性収縮系の解析
 有川幹彦・洲崎敏伸(神戸大・理・生物)
- P9) 大核内共生細菌 *Holospira obtusa*は宿主の遺伝子発現に変化を引き起こす。
 中村欽光・堀 学・藤島政博(山口大学理学部生物科学講座)
- P10) 種間接合を利用した接合過程の解析
 柳 明¹・八島洋一²
 (¹石巻専修大・理工・生物生産工; ²岩手医大・教養・生物)
- P11) ゾウリムシ *Paramecium caudatum*の大核内に共生するRickettsiaの発見
 道羅英夫(静岡大・遺伝子実験施設)
- P12) パルスフィールド電気泳動によるゾウリムシの染色体DNAの解析
 芳賀信幸・松島正和・田中瑞穂・川島隆一・保志 稔・小笠原嘉紘・太田 聡・洞内 安
 (石巻専修大・理工)
- P13) 核内共生細菌ホロスポラはgroELホモログを菌体外に放出する。
 原山幸子・藤島政博(山口大学理学部生物科学講座)
- P14) テトラヒメナにおけるアクチン脱重合因子ADF/コフィリンの探索
 松下真由美¹・阿部洋志²・沼田 治¹
 (¹筑波大学・生物科学系; ²千葉大学・理学部・生物学科)
- P15) トランスジェニックマウスを用いたトキソプラズマSAG-1の機能解析
 長澤秀行¹・セング セイハ¹・横山峯介²・五十嵐郁男¹・藤崎幸蔵¹・見上 彪¹・
 豊田 裕¹・鈴木直義¹(¹帯広大・原虫研; ²三菱生命研)
- P16) アルカリ性PH領域におけるスパズモネーム収縮性に関するマグネシウムイオン効果
 浅井 博¹・落合 勉¹・長谷川健司¹・陳 寧²
 (¹早大・理工; ²天津軽工業 学院食品工程系)
- P17) 原生生物 *Paramecium multimicronucleatum* の細胞分裂に対するステロイドの効果
 千田芳裕¹・ 大畠慶子^{2,3}・塚原保夫⁴
 (¹東北大学大学院情報科学研究科; ²東京大学医科学研究所;
³理化学研究所 脳科学総合研究センター; ⁴公立はこだて未来大学)
- P18) テトラヒメナ細胞質顆粒の運動
 武藤吉徳(岐阜大学・医療短大)
- P19) プレファリズミンおよびクリマコストールのDNA切断活性
 寺嶋昌代^{1,3}・飯尾英夫²・春本晃江¹
 (¹奈良女子大・理・生物; ²大阪市立大・理・物質科学; ³東海女子短大)
- P20) 分光学的手法によるプレファリスマ光受容系の構造・機能解析
 高田雄一・徳森大輔・Giovanni Checcucci・松岡達臣(高知大・理・生物)
- P21) ゾウリムシNAP-1の遺伝子解析
 西山学即¹・石田正樹²・山内清志³(¹福島県立医科大学・医学部・生物・
²三重大学・医学部・生理学第一講座; ³静岡大学・理学部・生地環)

- P22) *Paramecium multimicronucleatum* の接合型変換に伴う接合型特異的物質の変化
..... 深作太郎・三輪五十二 (茨城大・理・自然機能)
- P23) ゾウリムシにおける新規キナーゼ遺伝子の探索
..... 和田 智・小原真司・渡辺 彊 (東北大・院理・生物)
- P24) ゾウリムシの磁場感受性応答
..... 竹田龍太郎¹・清水喜久雄²・中岡保夫¹
(¹大阪大学基礎工学研究科生物工学; ²RI総合センター)
- P25) ゾウリムシのトリコシストエキソサイトーシスと細胞内カルシウムレベルの高速同時記録
..... 岩楯好昭¹・菊山宗弘² (¹徳島大・総合科学; ²放送大・生物)
- P26) 4種のゾウリムシにおける繊毛運動調節の違い
..... 関 誠・野口宗憲 (富山大・理・生物圏)
- P27) 核内共生細菌ホロスポラオブツサの宿主外培養
..... 藤島政博・塚脇紀和 (山口大学理学部生物科学講座)
- P28) DNA再配列を示唆するニハイチュウの微小DNA群の存在
..... 能登朋子・ 遠藤 浩 (金沢大・理・生物)